

広報
の

まつざき

2007
(平成19年)

3

No. 514



早く来た春 石部地区ひじき刈り (2/21)

と三浦小学校は を超える歴史に幕を閉じます。

岩科小学校

岩科小学校は、明治六年八月二十八日、現在の重要文化財岩科学校の敷地内に小学岩科学舎として創立しました。

以来百三十三年、卒業生は延べ八千人に上り、明治、大正、昭和、平成と、幾多の変遷を経ながら、多くの優れた人材を輩出してきました。

三月二十三日の閉校式を最後に長く刻まれた歴史に幕を閉じます。



校舎（現重要文化財）
落成式
（明治13年9月25日）

校歌

作詞 清水真澄
作曲 高橋 清

一、山紫に 朝霧はれて

溪流こたます 高野の峰は

明るく強く 伸びてゆく

岩科の子の 希望です

※あゝ美しい この町この学舎に

岩科起ての 鐘は鳴る

二、くれないもえる 中空めざし

翼飛ばたく 千羽の鶴は

やさしく清く 生きてゆく

岩科の子の おしえです

※（くりかえし）

三、岩點おどる 岩科川の

豊かに流れる 駿河の海は

正しく広く 学びゆく

岩科の子の 鏡です

※（くりかえし）

四、歴史はかおる 八つつの里に

よるこび溢れて わく歌声は

敬愛満ちて 栄えゆく

岩科の子の 力です

※（くりかえし）

（昭和38年11月制定）

『岩科起て』

岩科小学校の卒業生で「岩科起て」という言葉を知らない人はいないでしょう。

岩科村は、その昔、相撲村でした。毎年南伊豆全体で対抗相撲がもたれ、相互に親睦を深めていました。ただし、勝敗の分かれ目ともなる取り組みでは、皆が熱狂し大変な騒ぎとなりました。こうした大勝負の時、リーダーが発した決起の合図が「岩科起て」という言葉でした。

この言葉を教育的に生かそうと教育目標に設定したのは大正十四年の頃で、今でも校訓として引き継がれています。



昭和58年PTA寄贈



現在の校舎



平成18年9月16日
最後の運動会で

平成19年3月 岩科小学校

松崎小学校との統合により100年

三浦小学校

三浦小学校は、明治二十六年五月二十日、岩地、石部、雲見の尋常小学校を統合し、石部地内に開校しました。

以来百十三年、卒業生は延べ四千人に上り、地域コミュニティの拠点としての役割も担いながら、多くの優れた人材を輩出してきました。

三月二十八日の閉校式を最後に長く刻まれた歴史に幕を閉じます。



賀茂郡下初の鉄筋コンクリート校舎
(昭和4年12月23日落成)

校歌

非田春彦 作
のち松崎校一

一 里湖をぐる南俣豆

咲くはまゆりも匂いあり

若し我等は清らかならば

この学び舎に集うなや

二 三浦のいそが荒湖に

光りてはわたるほらの子と

先賢をまよせたくまよく

この学び舎に育つなや

三 西の風吹く駿河湾

よる白波の限りなき

学ぶ我等もたゆみなく

この学び舎にけむるなや

四 海の青する窓らかく

松のこみどり富士の山

高心を失わず

この学び舎に伸がるなや

本島 洋吉 詞

(昭和27年3月制定)

『坂道の通学路』

昭和四十九年十月、標高約百餘、棚田の広がる山の中腹に新校舎は落成しました。

石部の家並みや青い海、天気の良い日には南アルプスの山々を望むことができます。

現在に至るまで三十二年間、児童は片道約二十分の「坂道の通学路」を行き来しました。

レンゲの花で遊んだり、カエルの卵を見ついたり、猿に出くわしたり、時には道を外れ稲わらポッチの並ぶ棚田を駆け降りたり・・・

里山の自然の中を行く「坂道の通学路」は、みんなの記憶の中に残ることでしょう。



現在の校舎



平成18年8月22日 はばたき同窓会・学校キャンパスで

松崎町三つの実践運動

町では、平成13年度から「21世紀松崎町三つの実践運動」をすすめています。町内の小中学生に実践していることを募集しました。今月は『後しまつ』の実践を紹介します。

《後しまつ》

いっぱいおもちゃをださないように気をつけている。
松崎小3年
たかきかりん

家や学校の物をあった場所にもどしたり、進んで本の整理をしたりしている。
中川小4年
石田京太郎

部活では1年生として先輩に迷惑をかけないように自ら進んで片付けをしている。
松崎中1年 桐山智江

次の人がこまらないようにしています。

松崎小6年
吉岡直樹

自分が使った物はきちんと元のところに戻して使う前よりきれいにするつもりであとしまつをする。

松崎中3年
石田彩矢香



料理の後などのあらいものや宿題した後のかたづけなどその場所に何も置いていかないようにできた。

中川小6年
宇野愛咲美

あそびおわったものはあったところにかたづける。

岩科小1年
山本侑奈

飲んだジュースの缶やペットボトルをちゃんと分別して捨てた。

松崎中3年
土屋文貴

自分が使った物でなくてもかたづけをするようにしている。

中川小5年
土屋 萌

「ごみ0・にもつ0」にクラスで取り組んでいます。

松崎小学校
4年生

物を使った後はしっかりともとにあったところにかたづける。

中川小5年
山本洋之

遊んだ道具はつぎに使う人が使いやすいようにもとあった位置にもどすようにあとしまつをしています。

岩科小6年
山本佳穂

使ったものがなくならないように、つかった物はすぐにかたづけた。

松崎小5年
石田華奈枝

つかった物は、もとのばしょにかたづけてからつぎにつかいたい物を出す。

岩科小3年
後とうほのか

自分がだしたのや、あそんでいたものをしっかりとたづけた。

中川小3年
川口瑠杏

あとしまつは見えて気持ちが良いようにきれいに整理をしています。

岩科小5年
稲葉千佐子

ちらばっていたものをかたづけたよ。

三浦小3年
松本好輝

あそんでからあそんだ友だちといっしょにかたづけをやった。あそんだものをもとのばしょにきちんとしまった。

岩科小4年
稲木亜美

授業の後、部活の後、ふだん生活しているときも自分たちが使ったものはみんな片付けます。

松崎中2年
関 衣里香

友だちとあそんだ後はちらかすからかたづけます。

岩科小2年
山本かずみ

じゃまなものをかたづけたよ。

三浦小3年
齋藤真之介

清潔で住み良い町づくりのため

各種補助事業をご利用ください

町では、地域の環境を保護し、快適で住み良いまちづくりを推進するため、各種補助事業を行っています。

ここでは、一般家庭向けの事業をご紹介します。
どうぞご利用ください。

合併処理浄化槽 設置整備事業補助金

生活排水による海や河川等の水質汚濁を防止するため、住宅への合併処理浄化槽の設置に対して補助金を交付しています。

区分	新設(円)	設置替え(円)
5人槽	342,000	426,000
7人槽	414,000	516,000
10人槽	537,000	671,000

○対象になるのは一般住宅で、店舗や別荘は対象外となります。

○設置替えとは、単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えで、改築を伴う場合は新設扱いとなります。

○申請には浄化槽設置届、町税納税証明書などが必要となります。

※補助金額は、平成十九年度から表のとおりとなります。

ゴミ減量化対策補助金

一般家庭から排出される生ゴミの減量化と、農地還元などの再資源化を図るため、機器購入に対して補助金を交付しています。

補助金の申請は松崎町環境衛生自治推進協会にてになります。

①生ゴミ処理機購入補助金

○生ゴミ処理機には菌の力で生ゴミを分解する「分解消

滅型」と乾燥させて分量を減らす「乾燥減量型」の二種類があります。どちらの処理物でも畑や花壇の土壌改良材として利用できます。

○補助金額は機器購入費の二分の一で、限度額は二万円です。

○対象者は、町内に住民登録がある方で、町内のお店から購入し、町内で機器を使用することが条件になります。

②コンポスター (生ゴミ処理容器)

設置補助

○地中に住むバクテリアの働きで生ごみを堆肥に変える容器です。

○設置者個人負担金は一、六八〇円(二基)です。
○電話で申し込みできます。

(問合せ) 生活環境課
(電話) 42-3969

交通死亡事故ゼロ 連続一、五〇〇日達成

一月二十八日をもって松崎町が交通死亡事故ゼロ一、五〇〇日を達成したことにより、三十日、環境センターで「交通安全優良市町」の表彰状伝達式が行われました。

伝達式には、町長をはじめ、町議会議長、松崎警察署長、交通指導員、区長代表等が参加し、静岡県県民生活総室阿井総室長から表彰を受けました。

松崎町の交通死亡事故は、平成十四年十二月十九日からゼロを継続しており、町長はさらに継続していくよう関係者への協力をお願いしました。



ふるさとCM大賞 県知事賞受賞

県内四十二市町すべてが参加し行われた第五回しずおかふるさとCM大賞(静岡朝日テレビ主催・静岡県・静岡県教育委員会共催)の表彰式が一月二十六日、静岡市のグラシップで行われ、当町のCMがグランプリに次ぐ静岡県知事賞を受賞しました。

CMを制作した松崎高校生徒会の皆さんが表彰式に出席し、石川知事から表彰を受けました。

CMは、静岡朝日テレビで四月以降年間八十回放送され、町のホームページでもご覧いただけます。





この一票が私です。GO!選挙

4月は、静岡県議会議員と松崎町議会議員の選挙があります。

	静岡県議会議員	松崎町議会議員
投票日と投票時間	4月8日(日)午前7時～午後7時	4月22日(日)午前7時～午後7時
	※門野と三浦地区は、午前7時から午後6時までとなりますので、ご注意ください。	
投票できる人	昭和62年4月9日までに生まれた人	昭和62年4月23日までに生まれた人
	※詳しくは選挙管理委員会へお問い合わせください。	
投票する場所	投票所入場券に該当する投票所が記載されていますのでお確かめの上、投票にお越しください。	

期日前投票制度

投票日に仕事や旅行、通院などで投票所に行けない場合は、期日前投票制度をご利用ください。

※ご不明な点は、選挙管理委員会（Tel42-1111）までお問い合わせください。



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。



自治総合センター助成事業の一環として、道都区はこのほど太鼓を購入しました。この事業は宝くじの受託事業収入を財源として、住民が主体的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づき自治意識を盛り上げることが目的としています。

今後も地区内において活発なコミュニティ活動が行われることと思います。

宝くじ助成で
道都区太鼓購入

松崎文芸

俳句

早春の流るる雲や照り翳り	川海苔を入れ故郷の匂送る	川海苔を干して緑のしづく垂る	岩のりの天日に光る浜の風	遠山は淡き桃色春きざす	弱き歯にかかるく応えるはんば海苔	仏壇の吾子に呟く息白し	波静か渚に拾ふ桜貝	松過ぎて吾が家は今日から蜜柑園	三段の匂ひひろがる海苔弁当	猫柳触れてみたしと指が言ふ	剪定や腰鋸さぐる枝の上	新海苔の香り広がる朝餉かな	老農の豊穰祈る春祭	遠くより声かけられてあたたかし	梅咲くや一枝を胸に挿しもして
小林一男	斎藤みつ子	石田宏	稲葉菊恵	松田美智子	山本一詞	細矢金治	鈴木すみ江	山本武男	吉岡うた子	清水高子	佐藤享	土屋規矩子	依田ふじ枝	稲葉文字	小林忠男

まちのびろいっく

津波被害を軽減 防災地図作成に着手

東海地震で津波の浸水被害が想定される十一地区を対象に津波ハザードマップ（防災地図）作成ワークショップ（検討会）が一月二十七日、環境センターで開催されました。

津波発生時の被害軽減のため地区ごとに避難経路や危険箇所などを落とした防災地図は、今後現地踏査を通して確認を行い、地区に配布することになっています。



岩のり採り

那賀川・岩科川の川のり採りと並ぶ冬の風物詩、岩のり採りが二月八日（木）、岩地区で行われました。

暖冬と西風がほとんど吹かないことが影響しているのか、のりの生育が非常に悪く、例年になく不漁となりました。

二十日に行われた石部地区も同様で、那賀川・岩科川の川のりも例年になく不漁のようです。



鬼射まつり

二月十一日（日）、池代の日吉神社で江戸時代から伝わる鬼射まつりが行われました。

この祭は、地元の若衆組織日進会のメンバーと中高生が、夜明けとともにふんどし姿で川に入ってみそぎを行い、その後、白装束に黒袴の「弓太郎」と呼ばれる一人の青年が約二十ヶ先の目を目がけ弓を射るもので、地域の厄払いと家内安全が祈られました。



洋ラン

私の執務室は、美しく咲く洋ランが絶えない。友人が、ほぼ一カ月の周期で四、五鉢を届けてくれるのである。しかも一年を通してである。

それぞれ開花の時期が異なることからローテーションを組んで管理してくれているのであろう。そのご苦労と心遣いに感謝感謝である。

きれいに咲いているこの洋ランは、私の部屋から一鉢は受付カウンターに訪れる人々を楽しませてくれている。もう一鉢は会議室に飾られ殺風景な部屋を和ませている。興奮した場面も無言で治めてくれ、会議室に欠かさないものになっている。重ねてお礼申し上げます。また、トイレ洗面所に可愛いきれいな野の花を生けてくれている職員がいる。一年中花を絶やさ

町長室からこんにちは ⑥3

ないことは簡単そうに思えるが、なかなか出来ることではない。
長い間続けている心優しさに、うれしさをこめて、花二題を紹介した次第です。

松崎町長

深澤 進



21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成19年1月31日現在)

() 内は前月比

総人口	8,412人	(-26人)
男	4,013人	(-11人)
女	4,399人	(-15人)
世帯数	3,158戸	(-3戸)
転入	10人	転出 24人
出生	1人	死亡 13人

町の交通事故

平成19年1月31日現在

() 内は前年対比

人身事故	3件	(+1)
物損事故	11件	(+6)
死者	0人	(±0)
傷者	6人	(+3)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
南区	菅井ゐの子	83	仲 司
南郷	鈴木トキ	76	哲 也
門野	鈴木健二	87	誠
道部	鈴木とよ	94	真 次
江奈2	福本 弘	61	学
道部	渡辺よしこ	76	満
北区	石田金吾	80	信 行
山口	稲葉直之	59	光 代
西区	奥村敏子	70	章
江奈2	三枝とう	98	慎 侯
南郷	藤井きみ	90	繁
池代	新田 好	70	房 子

戸籍だより (1月分)

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
西区	タカミ 拓未	男	豊崎将也



※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

スクワット

- ①背幅に開いた足を八の字に開き、背筋を伸ばして腕を前に伸ばす。
- ②つま先と同じ方向にひざを曲げながら3秒間でいすに座るようにひざを曲げ、1秒間姿勢を保持する。
- ③3秒間で元の姿勢に戻る。



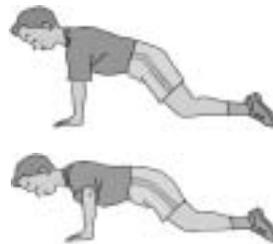
ヒップエクステンション

- ①背筋を伸ばし、腰の位置を固定したまま、いすに体重をかけずにおしりの下の方に力を入れる。
- ②3秒間でかかとから足を後ろに上げ、1秒間姿勢を保持する。
- ③3秒間で足を元に戻す。



腕立て伏せ

- ①ひざを少し曲げて床につけ、両腕を床に対して垂直に伸ばす。(肘は少し曲げる)
- ②両手を肩幅よりやや広めに置き指先をやや内側に入れる。
- ③ゆっくりと肘を曲げ、1秒間保持したら、ゆっくりと戻す。



ウォーキング等で持久力を高めながら、簡単な筋トレを加えると、体力はさらにアップします。呼吸を止めずにゆっくりと行いましょう。

自宅でこんなトレーニングを！
メタボリックシンドローム(内臓脂肪型代謝症候群)の予防に筋力トレーニングも取り入れてみましょう

保健師だより

姉妹都市通信

帯広市から

ばんえい競馬

かつて帯広・十勝の開拓には馬が欠かせない力でした。

松崎町から帯広の開拓にきた先駆者の皆さんも、馬は生活の中心でした。そのような中から生まれた「ばんえい競馬」は、鉄の重い馬そりを引くレースとして、北海道独自の文化遺産に認定されました。

今年、四月二十六日から翌年三月二十七日までの土・日・月曜日を中心に百五十日間、帯広市で開きますので、松崎町の皆さんも応援をお願いします。

レースは、二百メートルのコースに二方所の土の山(障害)があり、ここを体重約一トンの超大型馬が、約一トンの鉄そりを引く、そのパワーとスタミナを競います。

